Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

地区幹事
丸岡　章二（吹上）

国際ロータリー
第2570地区ガバナー
鈴木　秀憲

"Service"と, "Fellowship"と

1st June, 2013 Vol.12

ロータリー親睦活動月間

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2013年6月1日第12号

RID 2570 SAITAMA / JAPAN
いいね ふくよ

■ガバナーメッセージ

鈴木　秀憲

「ロータリー」の親睦

「ロータリーは、奉仕と親睦」という言葉をよく聞きます。又は「ロータリーは奉仕と友情」という言葉も聞きます。

つまり、ServiceとFellowshipを和約する段階で、表現が異なっているという事です。

「奉仕」については、ロータリー関係書類に多々出ており、日本語の所謂「奉仕」という言葉ではその意を充分言い尽くす事が出来ず、むしろ「Serviceをそのまま使った方が分かり易いのではないか」とも言われています。

私は、「奉仕」について５月号で「公益」という言葉を借りて表現してみました。

「Fellowship」を親睦と訳そうが友情と訳そうが、それには拘りませんが、ここでは、Fellowshipを敢えて「親睦」と表現した上で、一つ考えてみたい点があります。

「奉仕」の理解以上にこの「親睦」という言葉の理解は難しいと思います。ところが我々は無造作にこの言葉を使っているような気がしてなりません。

ロータリーへの入会勧誘する上で、「ロータリーの難しい点は追々理解すれば良いから、先ずは親睦を中心に入会してみませんか？」という勧誘言葉が多く使われているようです。

――私が、公式訪問で各クラブへお邪魔した時に、新会員との歓談を通じてこの状況を多く知りました。――

この勧誘言葉は、勧誘するロータリアンの（あまり小難しい話をするのではなく、相手を気遣う）優しい心の現れである場合も多いのですが、本音で「親睦だけつきあっていれば良いんだよ」という心の現れであった場合もあるようです。

公式訪問の折に、そのような状況を耳にした場合には、「親睦のためだけで年間20万円以上の年会費を払うのはもったいないでしょう」と冗談で応えておきました。

新会員を親睦委員会所属にするクラブが多いようですが、「新会員だから、懇親会の手伝いでもして頂いたら良いのでは？」という理解では無く、以下私が考えている点を参考にして頂ければ幸いです。

親睦という言葉からは多くのクラブや会員が、会員相互の懇親事業つまり懇親会=宴会や親睦ゴルフ・親睦旅行を連想される事が多いようですし、それを頭から否定するつもりではありませんが、Fellowshipの真意、少なくともロータリーの場合のFellowshipは、同じServiceを行う者同士の友情（やはり、親睦より友情の方が馴染む）と理解した方が良いと考えます。

奉仕事業を共に行う事によって、その奉仕についての考え方や実施方法、或いは疑問点をぶつけ合い、納得しあった上で友の真の心のあり方を知り、深い友情を交わす事が出来るようになると考えます。

私は全国の同業者団体運営を通じて、多くの心の友を得る事が出来ました。我々は悩みが同じで、共に解決しなければならない事を多く抱えていました。それをぶつけ合い解決する事で共に理解し、真の友情が芽生えました。近くの同業者は互いに競合者で、腹の底からの悩みをぶつあう事は一般的には難しいですが、遠く離れた関西や九州の同業者は競合者ではなく、互いに良き指導者になるのです。共に過ごした年月は既に10年以上過去の事になりますが、今でも心からの友人です。（近くの同業者でも、心からの話が通じて真の友人になっている方も多くおりますので、念の為申し添えます。）

又、現在全国33の同期ガバナーとも色々な点を話し合い、教えて頂く中で参考にし、真の友情や尊敬の心が芽生えて来ました。今のところお付き合いの期間は短く話の焦点は地区運営の事が多いですが、いずれロータリー以外の点でも教えて頂く事が多くなるだろうと楽しみにしています。

勿論、今期第2570地区運営について色々と困難に直面し、その解決に共に心血を注いだ先輩ガバナーや地区委員の皆様とも、問題点の根が深ければ深かった程苦労は多くあり、多く苦労すればする程、交流の度合いや尊敬の念が深まりました。やがて終わる任期の後も、真の友人としてお付き合い頂けるものと期待しています。

私は経験していませんが、父親の時代には共に戦争体験をした友人が多くいたようです。この戦争体験を共にした戦友は、共にその命を懸けていただけに友情の度合いが特に強かったようです。

話を元に戻しますが、奉仕事業を行いながらその内容を深堀し激論を重ねながら、或いは地域社会や全世界の実情に思いを馳せ、真剣であればある程、勿論命をかける事はありませんが、使命感を懸けての真剣な議論と行動は、その結果、真の友情が深まって行くと考えます。これこそがロータリーのFellowshipであろうと考えています。

この真の友情の深まったロータリアンと酌み交わす酒の味は、格別なものだと思います。真の友情で結ばれたロータリアンと共に過ごす趣味の世界も格別なものであると考えます。

「ServiceとFellowship」共に奥の深い言葉だと改めて思いました。

■ 2012-2013 年度・第 2570 地区

地区大会を終えて

地区大会実行委員長　**上岡　常浩**（吹上）

本大会に際し“いい風吹かそう”と温かい心でご参加頂いた大勢の皆様方に対し、先ずもってご協力厚くお礼申し上げます。

私どもホストクラブといたしましては改めて皆様方の深い友情を身をもって実感しながら、この強い仲間の絆があればこそ、田中作次RI会長が提唱される“奉仕を通じて平和を”も実現するのだと、その意を強くしながら２日間の日程を務めさせて頂きました。

その間、RI会長代理の金杉誠様、ご来賓の上田清司埼玉県知事様、さらに我が鴻巣市長の原口和久様からのご挨拶やご祝辞も力強く感銘深いものでしたが、“エジプト博士”の早大名誉教授吉村作治先生の「あなた達のピラミッドを見つけて夢を実現しよう」は心に残る印象深いご講演でした。

この場を借りて方々へ心より感謝致します。

鈴木ガバナーと、大会第1日目、地区指導者セミナー

本大会がこのように盛会のうちに終了できましたのは、パストガバナーの皆様方が後方より支えて下さった事は言うまでもありませんが、直接その任に当たった私どもとしましては、親クラブの行田クラブさんと兄弟クラブの行田さくらクラブさんを始め、コホストの方々のご協力もまた忘れること事が出来ません。

殊に行田クラブ・行田さくらクラブさんには、正に寝食を忘れたご協力を頂き“友情”を越えた親子・兄弟の“情”を心に再確認をする日々だったように思います。重ねてお礼を申し上げます。

なお最後になりますが、僅か12名の我が吹上クラブの仲間たちです。本大会に当たっては一人ひとりの持ち味を十分に発揮して臨まれたこと、そのご尽力に心より感謝しております。又地区幹事として縦横に活躍された丸岡章二会員には、年度当初から鈴木秀憲ガバナーと行動を共にされ、文字通り地区ロータリーの根幹役をつとめられ、見事今大会へ導かれたこと、大会実行委員長として誇らしく思うと同時に、深甚な敬意を表したいと思います。

以上意を尽くしませんが、地区大会終了に当たって謝意と致します。　　４月末日

国際ロータリー会長代理　金杉　誠氏（第 2590 地区　横浜西 RC）

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会での金杉ご夫妻

■第1日目・エクスカーション

↑大会２日目、大会本会議での鈴木ガバナーと、金杉 RI 会長代理

アトラクション：鴻巣市無形民俗文化財「小谷ささら獅子舞」→

↓歓迎唱歌合唱（吹上北中学校）

記念講演→

早稲田大学名誉教授　吉村　作治氏

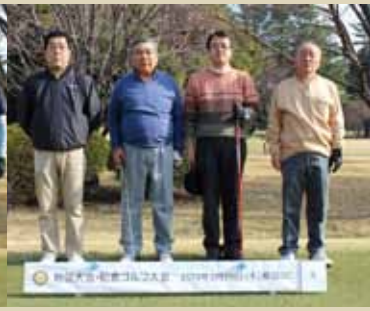
↓各種委員会報告

↑ご来賓ご祝辞に立つ上田清司埼玉県知事と原口和久鴻巣市長

↑インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生（来日学生・派遣学生）、
ローテックス、ロータリー財団学友・派遣奨学生、米山記念奨学生の皆さん

吉村名誉教授の記念講演に仲睦まじく聞き入る金杉 RI 会長代理ご夫妻↓

■地区大会記念ゴルフ大会



3月28日(木)、熊谷ゴルフクラブにて開催されました記念ゴルフ大会には、191名という多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。心配された当日の天候も、皆様の熱意に気おされ、願ってもない絶好の日和となりました。又今年は季節的に少し早い、“満開のさくら”という時の花も添えられ、親しい仲間と熊谷ゴルフクラブのプレーを堪能されました事と存じます。委員会一同心より御礼申し上げます。

皆様から寄せられましたご厚意は、チャリティー基金として鈴木ガバナーに手渡し、「ロータリーきぼうの風奨学金」に寄贈されました。ありがとうございました。　ゴルフ大会実行委員長　**馬橋　亟男**（吹上）

■地区協議会

地区協議会のご報告

次年度地区幹事　**高橋　興基**（所沢）

今年の地区協は、中井ガバナーエレクト（GE）の意向で４月10日に体育館ではなく、川越プリスホテルで会議３時間、懇親会１時間というPETSと同じ時間配分で川越西RC様をホストクラブとして開催されました。（参加者は250名）

中井GEの開会点鐘後に田村川越西RC会長と鈴木ガバナーのご挨拶があり、ガバナーノミニーとして坂本元彦氏が紹介されました。中井GEが次年度の運営方針を説明し、地区人頭賦課金（地区会費）と地区予算案、次年度ホストクラブを会長エレクトにご審議いただき、活発な質疑応答を経て決定しました。その後短時間でしたが、次年度地区委員長から次年度の方針の説明があり、坂本ガバナーノミニーのご挨拶もありました。

国際協議会の報告としてロン・バートン会長エレクトのテーマ「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」、「大きな口をきく人は寄付をしろ」とR財団への寄付要請、会員増強のためにクラブが規則や伝統を変えることも必要との紹介もありました。

去年７月１日に８万7698人だった日本の会員数を今年６月末日には10万人、次年度末には10万5050人、14年度末は11万100人にするSAKUJI大作戦の実現には日本の地区数と当地区クラブ数で割ると今年は純増７人、次年度は純増３人で２年間で純増10人が目標になります。

中井GEは当地区が各クラブにかける負担の軽減としてIMも含めて地区行事や会合を極力減らし、会議時間を短縮すると提案しました。

そして現行の年額２万8200円の地区会費を７月１日に35歳未満の会員年額１万円、35歳以上の会員年額２万円にすることが承認されました。

次年度は地区会費3500万円を基本収入にし、委員会活動費を立原年度より増額し、ガバナーとガバナーエレクト事務所運営費や地区大会・地区協議会、印刷費・会議費を大幅に減額する地区予算も承認されました。

次年度の地区協議会（正式名称が地区研修協議会に変更）は、ガバナーエレクトが指定するクラブをホストクラブにすることになりました。（吹上RCが受諾の意向表明）

次年度地区大会は、11月29日金曜日に所沢市のミューズで開催します。（前夜RI会長代理歓迎晩餐会を小人数で行い、29日には指導者育成セミナー、RI会長代理歓迎昼食会、本会議を予定しています。多数のご参加をお待ちしています。）　快適便利な会場・活発で楽しい会議・飲み放題付き軽食が好評でした。

■東松山 RC　創立 50 周年記念式典

東松山RC創立50周年を迎えて

東松山 RC 会長　**米山　真澄**

2013 年 4 月 5 日 (金) 50 周年記念事業「交通安全協会の方にヘルメットの寄贈贈呈式」を春の交通安全運動キャンペーンに併せまして滑川のカインズ駐車場で行われました。約 200 名の方が見守る中行われました。当日は東松山ケーブルテレビ、埼玉新聞の方が取材に来られ、4 月 11 日 (木) 記事になりました。

当クラブが東松山の地に創立しましたのは、1963年９月12日です。RI承認されましたのが同年10月19日、初代会長に村上啓次氏、幹事を鮎貝盛雄氏により始まりました。スポンサークラブは川越ロータリークラブ様、区域は東松山市、滑川町、川島町、吉見町です。1989年には堀一男ガバナー、2008年には真下和男ガバナーを輩出致しました。そして、子クラブ設立や青少年交換留学生に力を入れてまいりました。1965年にインターアクトクラブ設立、1967年に坂戸ロータリークラブ、1995年に東松山むさしロータリークラブ、1997年ローターアクトクラブを東松山むさしと合同スポンサーとなり設立致しました。ロータリー財団奨学生を1983年から2002年に3名、米山奨学生を1986年から2013年に10名、1974年から2010年に受入青少年交換学生を14名、派遣青少年交換学生を16名、1972年～日豪相互訪問、1978年～インド・ネパール訪問、1988年～日比高校生相互訪問、の派遣・受入を行ってまいりました。RI田中会長のテーマである「奉仕を通じて平和を」とありますように、未来を荷うべく将来リーダーとなるであろう、青少年たちの少しでも力になれたらと思います。そして、奉仕を通じ世界平和に自分たちの経験を活かし役立てて欲しいと思います。

当クラブは地域にも目を向けてまいりました。東松山市最大のイベント「日本スリーデーマーチ」への参加です。ウォーキングは勿論、会場ではブースを構え各地から集まって下さったウォーカーの血圧測定を行っております。その他ウォーキングセンターに花壇の設置、小学校や公園などに桜等の植樹、「市野川クリーンアップ作戦」に参加し東松山むさしロータリークラブと合同で市野川の清掃や豚汁の無料配布、交通安全を促すための標語が記載された三角柱3面看板の設置、等を実施致してまいりました。この度、50周年事業の一環と致しまして、地域の交通安全に取り組みました。一つにはこの標語を書換え新しくすること、もう一つは高齢者の死亡事故が多発しているということで、交通安全協会に自転車用ヘルメット100個を寄贈し交通安全啓発運動に寄与いたしました。大切な命をこれで守って頂きたいと願ってやみません。

５月12日（日）ディアナ・マリエールにてクラブ創立50周年記念式典を行いました。鈴木秀憲ガバナー始め東松山市長森田光一様、川越ロータリークラブ山﨑嘉正会長、松山女子高校の及川三栄子校長先生、大妻嵐山中学校・高等学校の篠原善廣校長先生等、沢山の方々の祝福を頂きました。東松山ロータリークラブを支えてくださっている一市三町に感謝を込めて寄付贈呈式も致しました。これからも、「奉仕の理想」、「四つのテスト」に沿って奉仕をしていきたいと思います。

■本庄 RC　創立 50 周年記念式典

本庄ロータリー創立50周年を迎えて

本庄 RC 会長　**橋本　恒男**

本庄ロータリークラブは、1963年５月16日「ロータリーの綱領（目的）」を掲げ、初代冨田民治会長・清水泉一幹事で産声を上げました。それから50年。諸先輩方に歴史を積みあげて頂き、創立50周年を迎える事ができました。

創立50周年にあたり、2013年５月16日本庄ロータリークラブ創立50周年記念式典・記念講演会・記念事業支援金授与・記念懇親会を開催し、記念事業として下記記載の支援活動事業を行いました。

これらの記念事業に関し、関係各位におかれましては多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また記念事業支援金に関しましては、各種団体の素晴らしい活動に少しでもお役立て頂きたく、本庄ロータリークラブ全会員の温かい大きな思いを込め、お送りさせて頂きました。

今後も、50年間続いた本庄ロータリークラブの歴史と伝統を絶やすことなく、諸先輩方のご功績に感謝し、地域でなくてはならないロータリークラブとして活動してゆきたいと思います。

記念式典・記念講演会・記念懇親会にご参加頂きました皆様、ならびに関係下さいました全ての方に感謝と御礼申し上げます。

Ⅰ　記念事業

①ネパール学校建設
②新幹線本庄早稲田駅北口マリーゴールドの丘にて植樹
③本庄ロータリークラブ50周年記念バナー作成
④本庄ロータリータイムカプセル開錠
⑤本庄ロータリークラブ50周年記念コンペ
⑥記念講演会「嘉田由紀子」滋賀県知事

Ⅱ　記念事業支援金授与（地域貢献支援）

①国際ロータリー第2570地区「ロータリー財団」
②国際ロータリー第2570地区「米山記念奨学会基金」
③ロータリー希望の風奨学金
④公益財団法人「さいたま緑のトラスト基金」
⑤社会福祉法人「本庄市社会福祉協議会」
⑥引きこもり支援相談室「若者応援サロン　ホッと居て」
⑦ボーイスカウト本庄団
⑧本庄駅北口に防犯灯を設置する会

■岡部 RC　創立 35 周年記念式典

岡部ロータリー創立35周年式典

岡部 RC 会長　**井上　敏夫**

式典で挨拶をする井上会長

4月10日、ご来賓の方々を始め大勢の皆様にご出席頂き、創立35周年式典を開催致しました。岡部ロータリークラブは1978年６月30日に国際ロータリーに認証され、35年間に亘り地元で多くの奉仕活動を行ってまいりましが、今回の35周年を記念し、地元岡部の小中学校への図書券の贈呈、私達の奉仕活動に御協力頂いております地元団体の皆様への感謝状等の贈呈を行いました。

ゲストの成徳深谷高校吹奏楽部

ソングリーダーは、梅澤Ｇ補佐と井上会長

35周年と言う節目に、会員一同心を一つに新たな気持ちで、交換留学生の受入、地元のふれあいカーニバル・コスモス祭りへの参加、地元の児童との田植え稲刈り、26年目を迎えた少年サッカー大会開催、書損じ葉書の回収、東日本の復興支援、ロータリー財団や深谷市「ふっかちゃん基金」への寄付、蛍鑑賞会などなど数多くの諸先輩の教えと歴史の元、奉仕活動を行ない今日の良き日を迎える事ができました。

今後のクラブ運営にあたりましては、数々の難問がありますが、これからも一層奮闘努力をし、良きロータリアンとしての自覚のもと、この道に精進して参りたいと思います。

■深谷東 RC　創立 30 周年記念式典

創立30周年記念式典報告

深谷東 RC 会長　**新井　直己**

深谷東ロータリークラブの創立記念日（５月10日）に、鈴木秀憲ガバナーを初めと致します来訪クラブの皆様や、深谷市長小島進様並びに多くのご来賓の方々、そして国際ロータリー第3750地区金の美泳ガバナーや、８期にわたり友情を培って頂いた韓国水原八達ロータリークラブの会員に来日頂き、創立30周年記念式典を挙行致しました。

記念事業としまして、深谷市にルミネーションと太陽光パネルの寄贈、ボーイ・ガールスカウトに活動資金の寄贈、そしてロータリー財団へ特別寄付を致しました。

これからは会員79名と共に地域に根差し、また国際貢献の一翼を担えますよう、一層の努力をする所存でございます。

上：国際ロータリー第 3750 地区ガバナー金美泳様から鈴木秀憲ガバナーへプレゼントの贈呈
左：記念事業のひとつとして、新井会長から鈴木ガバナーへロータリー財団への寄附
下左：新井会長から RID3750 水原八達ロータリークラブ会長伊鍾萬様へ記念品の贈呈
下右：祝賀会アトラクション：マグロ解体ショー

■日高 RC　創立 30 周年記念式典

創立30周年記念式典

日高 RC 会長　**引間　豊**

新緑輝く春たけなわの５月14日（火）、西武飯能ステーションビル　ホテル・ヘリテイジ飯能６Ｆにて日高RC創立30周年記念式典が挙行されました。

来賓に鈴木ガバナー、平岡ガバナー補佐、そして安藤会長率いるスポンサークラブの飯能RCの皆さん、姉妹クラブのRID3740韓国提川ロータリークラブの皆さん、そして、日高市長　谷ヶ崎様、県議の小谷野様などに、花を添えて致き、盛大な式典となりました。

会長の歓迎の言葉から始まり、来賓紹介、記念事業の発表、永年在籍会員表彰、来賓祝辞と進み、記念講演は、㈱ハイディ日高　代表取締役会長　神田　正先生より「５坪の店から一部上場企業へ」というテーマでお話をいただきました。その後祝宴では、来賓による鏡開きで始まり、終始なごやかな雰囲気のうちに終了することができました。

私は、偶然ではありますが、第30代の会長として、この日を迎えられた事に尊い喜びを感じ、当クラブを支えていただいた、歴代の先輩諸氏、そして関係者の皆様に心より感謝を申し述べさせて致き、式典の報告とさせて致きます。

■さきたま火祭り

さきたま古墳群を世界遺産に！

社会奉仕部門地区事業委員長　**新井 啓介**（行田さくら）

5月4日恒例のさきたま火祭りが開催されましたが、その同日に、さきたま古墳公園内の「さきたま史跡の博物館」の講堂（社会奉仕セミナー開催場所）で、世界遺産関連講座が開講され、塚田良道大正大学教授の「はにわ人の誕生」のお話があり、踊る埴輪をはじめ、いろいろな姿の人物埴輪がどのようにして生まれ、埼玉の地で展開したのか、その歴史について説明がありました。踊る埴輪は、実は馬子ではないか？といった興味深いお話もありました。開講に先立ち、めざせ世界遺産に取組んでいる私達にご挨拶の機会を頂きましたので、100名程の聴講者に「さきたま古墳群の世界遺産登録推進運動」をご存知ですか、とお聞きしたところ、ほとんどの方から挙手を頂きました。当日夕刻からの火祭りには、上田清司埼玉県知事のご参加があり、さきたま古墳群を世界遺産に！と熱いご挨拶を頂きました。

後日、読売新聞や埼玉新聞等が、「さきたま古墳群・世界遺産へ活動継続」、「ロータリークラブなどが積極的に活動」などを掲載。多くの人が、読まれたと思います。

新入会員のご紹介

（本庄RC）

政　裕美子
㈲ロイヤル工業
取締役会長
（紹介者）金子　章

（本庄RC）

永井　保之
永井運輸㈱
代表取締役
（紹介者）金子　章

（本庄RC）

町田　博文
SMBCフレンド証券㈱
支店長
（紹介者）橋本　恒男

（鶴ヶ島RC）

長峰　秀和
㈱長峰園
代表取締役
（紹介者）清水　良一

（秩父RC）

松本　政治
東和銀行　秩父支店
支店長
（紹介者）岸岡　正浩

（秩父RC）

浅見　徹
ちちぶ動物病院
副院長
（紹介者）西村　耕一

（熊谷RC）

遠藤　輝夫
綜合警備保障㈱埼玉北支社
支社長
（紹介者）大澤孝至、時田芳文

（新所沢RC）

福田　五朗
㈱矢崎梱包運輸
代表取締役
（紹介者）阿部　隆義

（狭山中央RC）

小室　昭男
コムロシステムエンジニアリング
代 表
（紹介者）中谷　和美

（狭山中央RC）

松浦　法子
トレスカーサー　スイ
役 員
（紹介者）佐藤　圭司

（狭山中央RC）

坂本　松男
医療法人尚寿会
顧　問
（紹介者）寶積　克彦

（狭山中央RC）

高岸　陽子
M2TRAINER さとう治療院
講 師
（紹介者）佐藤　圭司

（狭山中央RC）

田中　隆行
㈲エクセル
会 長
（紹介者）稲見　淳

（所沢中央RC）

中村　成孝
綜合警備保障㈱埼玉西支社
支店長
（紹介者）日髙　幸二

編集部から

お詫びと訂正

ガバナー月信5月1日(第11号)11ページ：新米山奨学生紹介欄でスヘバートル・ジャウフラントさんの国名が誤っていました。正しくは「モンゴル」です。スヘバートル・ジャウフラントさん並びに関係各位にお詫びを申し上げ、訂正させて頂きます。

スヘバートル・ジャウフラント　モンゴル・西武文理大学

表　彰

メジャードナー

木暮　亨
（深谷東）

本年度10月と２月の２回、深谷東RCの木暮亨会員からロータリー財団へ、各1,000ドルずつの寄付を頂きMPHFとしてガバナー月信に掲載させて頂きましたが、精査の結果、立原年度に既にメジャードナーとして認証されておりました。木暮亨会員にお詫びを申し上げ、謹んでメジャードナーとしてご報告させて頂きます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

上野　光男
（朝霞）

ベネファクター

山村　昭康
（志木）

米山功労者

メジャードナー　26回
西川　武重郎
（志木）

メジャードナー　11回
宮内　邦雄
（和光）

8回
真下　和男
（東松山）

5回
田村　隆　（川越西）

4回
松岡　囡男
（行田さくら）

3回
松本　健一
（行田さくら）

3回
小泉　市朗
（志木）

2回
高橋　健一郎
（志木）

2回
上原　実
（志木）

2回
内山　純夫
（志木）

1回
小林　八郎
（志木）

1回
吉原　正
（志木）

1回
半田　太
（行田さくら）

1回
阿部　秀二郎
（行田さくら）

1回
神田　日出雄
（行田さくら）

1回
田島　博夫
（行田さくら）

6月のスケジュール

6月		
8	土	志木柳瀬川 RC20 周年記念例会
		（志木市民会館パルシティ　15：30 ～）
23	日	ロータリー国際大会本会議（リスボン）
		RI 第 2570 地区ガバナーズナイト（リスボン）
25	火	RI 第 2570 地区さよならディナー（パリ）

訃　報

菊地　信勝 様（深谷）

2013年3月17日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。　享年71歳

ロータリー歴：
1980年３月入会（在籍33年）

編集部から

ロータリー川柳

もう一度　皆の絆で　増強を
野原　正次郎（川越西）

脳トレと　思えば楽し　例会日
大野　快三（入間南）

チョビ髭に　白髪のまじる　ロータリアン
大河原　隆敏（入間南）

地区大会　檜舞台の幕があく
出川　敏雄（入間南）

畳替え　地区大会の　控室
荻野　靜次（入間南）

三陸に　絆深める　募金箱
山崎　眞一（入間南）

お詫びと訂正

ガバナー月信５月１日(第11号) ４ページ：
第２回社会奉仕セミナー報告の文頭の開催日付に誤りがありました。正しくは平成25年３月16日(土)です。お詫びを申し上げ訂正させて頂きます。

4月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 通算	会員数(人) 年初(7/1)	4月末現在	4月入会数	4月退会者	本年度入会数	本年度退会者	4月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	5	87.1	82.0	86	87	0	0	4	3	0	1	0
	東松山	4	68.1	76.7	33	32	0	1	1	2	-1	-1	1
	小川	3	66.7	70.4	12	11	0	0	0	1	0	-1	1
	坂戸	4	94.0	90.5	25	27	0	0	3	1	0	2	0
	越生毛呂	5	74.8	77.9	26	27	0	0	1	0	0	1	3
	川越小江戸	4	89.9	92.8	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	4	75.9	83.9	15	13	0	0	0	2	0	-2	0
	鶴ヶ島	4	85.0	84.7	26	28	1	0	3	1	1	2	2
	川越中央	4	86.2	87.6	31	34	0	0	3	0	0	3	0
	坂戸さつき	4	63.8	69.5	20	20	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	4	87.0	87.3	36	37	0	0	1	0	0	1	4
	小計		79.9	82.1	324	330	1	1	16	10	0	6	15
第2グループ（8RC）	朝霞	4	93.6	92.3	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	志木	4	97.6	93.9	49	51	0	0	4	2	0	2	0
	富士見	4	93.6	90.0	49	49	0	0	1	1	0	0	0
	新座	3	90.2	88.8	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	和光	3	95.6	88.0	20	18	0	0	0	2	0	-2	2
	朝霞キャロット	4	86.5	92.6	13	13	0	0	1	1	0	0	0
	志木柳瀬川	4	92.9	92.2	12	13	0	0	1	0	0	1	4
	新座こぶし	4	84.6	83.4	15	13	0	0	0	2	0	-2	2
	小計		91.8	90.2	217	216	0	0	7	8	0	-1	10
第3グループ（12RC）	入間	4	91.6	84.7	39	39	0	0	2	2	0	0	1
	所沢	4	85.0	86.6	59	57	0	0	3	5	0	-2	3
	飯能	4	96.0	91.9	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	4	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	新所沢	4	81.3	84.7	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	日高	4	84.2	80.5	25	25	0	0	1	1	0	0	3
	所沢西	3	87.8	87.0	38	41	0	0	3	0	0	3	1
	新狭山	3	81.2	88.7	23	24	0	0	1	0	0	1	0
	所沢東	4	91.8	86.3	37	38	0	0	2	1	0	1	3
	入間南	3	88.1	95.0	39	39	0	0	1	1	0	0	0
	所沢中央	4	94.0	94.8	37	38	0	0	2	1	0	1	0
	狭山中央	5	90.0	88.9	29	30	0	0	1	0	0	1	4
	小計		89.2	89.1	416	421	0	0	16	11	0	5	16
第4グループ（11RC）	深谷	5	86.6	83.2	57	58	0	0	2	1	0	1	9
	本庄	4	76.8	80.3	73	75	3	1	3	1	2	2	8
	秩父	4	80.7	83.0	50	51	1	0	3	2	1	1	0
	寄居	4	68.0	78.6	38	39	0	0	2	1	0	1	0
	児玉	3	58.3	59.5	9	12	0	0	3	0	0	3	0
	岡部	4	84.5	84.2	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	3	73.9	71.1	71	77	0	0	6	0	0	6	0
	川本	3	73.0	85.9	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	89.6	88.1	12	13	0	0	1	0	0	1	1
	本庄南	3	80.7	85.5	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	4	87.8	81.6	33	35	0	0	3	1	0	2	0
	小計		78.2	80.1	392	409	4	1	23	6	3	17	20
第5グループ（10RC）	熊谷	4	91.0	79.3	89	93	1	0	5	1	1	4	3
	行田	4	75.4	75.8	55	55	0	0	1	1	0	0	4
	羽生	5	83.5	79.9	42	41	1	1	3	4	0	-1	4
	加須	3	77.1	81.6	37	35	0	0	0	2	0	-2	1
	熊谷西	4	75.0	69.7	13	12	0	0	0	1	0	-1	0
	行田さくら	4	86.5	78.4	42	44	0	0	2	0	0	2	0
	熊谷東	3	91.7	92.1	31	32	0	0	2	1	0	1	2
	吹上	4	95.8	93.2	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	88.9	90.7	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	3	51.3	57.3	25	26	0	0	1	0	0	1	1
	小計		81.6	79.8	373	377	2	1	14	10	1	4	15
52RC	クラブ会員数		85.0	84.1	1722	1753	7	3	76	45	4	31	
	女性会員数				74	76	1	0	6	4	1	2	

古代蓮の里公園と行田蓮

蓮をテーマとした公園では日本で一、二を争う行田市の古代蓮の里公園を紹介します。

行田蓮(古代蓮)は、昭和46年の小針クリーンセンターの工事中に掘った焼却灰の埋め立て穴から自然発芽し2年後に開花したもので、1400～3000年くらい前の蓮だと言われています。

平成4年から8年かけて整備した公園で広さは14ha、園内には広い行田蓮の池の他、水鳥の池、水性植物園があり、世界の蓮園では40品種を見ることができます。古代蓮会館にある展望タワーに上がると、360度の大展望が開けます。筑波山から、富士山、丹沢山地まで関東平野を取り巻く山々が手に取るように望めます。よく晴れた、風の弱い冬の朝の眺めは特に素晴らしく、スカイツリーも見られます。秋には田んぼアートも楽しめます。古代蓮会館には蓮について学べる展示室があり行田の自然を紹介した展示室もあります。

蓮(ハス科ハス属)は一億年以上前から地球に存在し、北極付近からユーラシア大陸とアメリカ大陸の二方向に南下していったと思われます。現存するのはアジア・オーストラリアに分布する東洋ハスと北部・中部アメリカに分布する黄色の花の咲くアメリカハスの2種類です。蓮根と花蓮のため、改良が重ねられ様々な品種があります。

行田蓮は日本の古代に行田の地に環境適応した東洋ハスの地域種が地中深く種で残存し、現代に復活した蓮です。まさに生命力の強さを象徴するハスと言えます。

行田ハスの花期6月中旬～8月中旬

写真:阿部　美登志(月信スタッフ)　文:橋本　恭一(行田さくら)

ガバナー月信　第12号
2013年6月1日発行
今月の表紙:
国際ロータリー第2570地区ガバナー
鈴木　秀憲
地区幹事
丸岡　章二

2012−2013年度ガバナー　**鈴木　秀憲**
国際ロータリー第2570地区　地区事務所
〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号　紫雲閣3F
TEL (0493)21−2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp
FAX (0493)21−2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/